

人口・財政班 課題発表

班員 高橋諒 田宮日奈 天野亮 安藤峻之介 岸裕希奈 宮下夏子 堀川尚駿 TA 江端杏奈 中澤ゆかり

1章 土浦市の人口

1-1 総人口・年齢別人口

人口推移について、昭和55年から平成2年にかけては、高い人口増加率で高成長期となっていた。総人口は、2000年をピークに減少傾向に転じている。

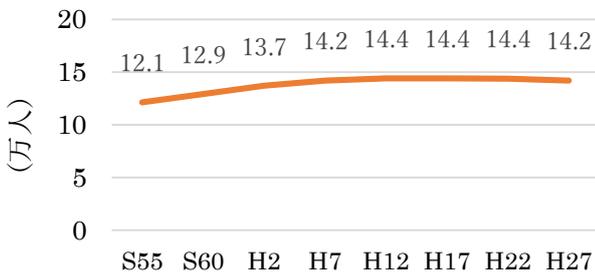


図1-1-1 総人口の推移

年齢別の人口構成割合で見ると、幼年人口、生産年齢人口の割合はともに減少傾向にある。一方で老年人口割合は増加し続けている。H12年には老年人口割合が15%を超え、超高齢化社会となり、さらにH17年には第一次ベビーブームの世代が65歳以上になり、老年人口が大幅に増加した。今後は第二次ベビーブームの世代も高齢に近づいていき、第三次ベビーブームは訪れなかったため、幼年人口の増加も見込めず、さらなる少子高齢化が懸念される。

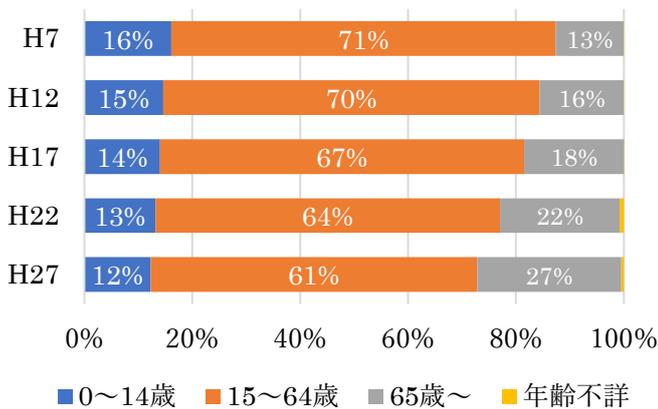


図1-1-2 年齢別人口の構成割合

1-2 自然動態

自然動態について見てみると、平成19年までは出生数が多く自然増となっていたが、平成20年以降は死亡数が上回り自然減へと転じ、その後も自然減は拡大している。

出生数は年々減少していく傾向にあるのに対し、死亡数は高齢化の進展により増加傾向にある。平成29年時点において自然減は483人であるが、死亡数の増加により自然減のさらなる拡大が考えられる。

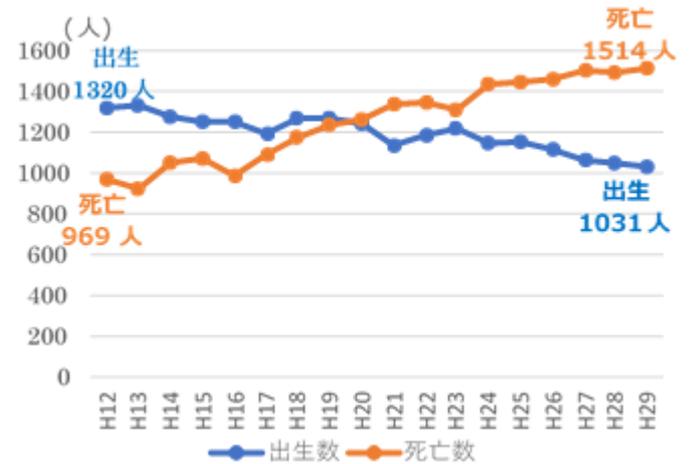


図1-2-1 自然動態(出生数・死亡数)の推移

また、出生数に影響を与える合計特殊出生率は全国平均、茨城県平均を下回る低い水準にとどまっており、全国的に回復基調にある直近についても、土浦市は低下傾向となっている。平成25年の時点での合計特殊出生率は1.33(全国平均1.43)と人口置換水準の2.08を大きく下回っており、今後も大きく改善する見込みはない状態である。

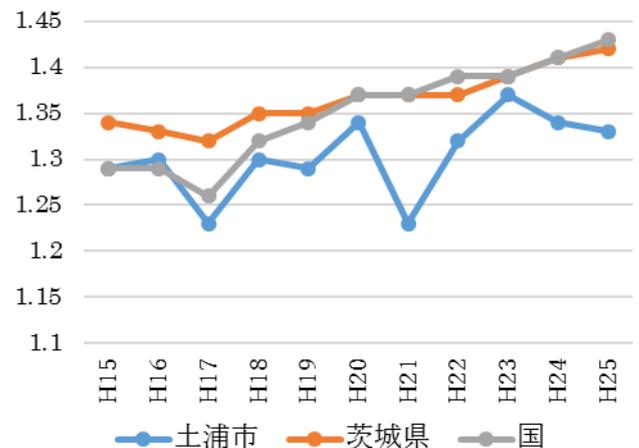


図1-2-2 合計特殊出生率の推移

1-3 社会動態

社会移動に関しては、転入数が平成10年以降減少傾向にあり、平成26年の転入数は6,600人程度となっている。一方で転出数は、平成15年までは増加傾向にあったが、以降は減少傾向である。平成14年以降は一部の年を除き、転出超過で推移しているが、その傾向は比較的大きい時点であっても300人程度の転出と、それほど大きな転出超過となっていない。また、土浦市と茨城県内各市町村との間の社会移動の状況を見ると、転入数から転出数を差し引いた純移動数では、かすみがうら市や水戸市、石岡市など土浦市の北側に位置する市町村の間では転入超過となっている一方で、つくば市や阿見町、牛久市、龍ヶ崎市といった土浦市の南側に位置する市町村の間では転出超過となっている。

茨城県外の都道府県との間では、東京都、千葉県の間では大幅な転出超過となっているが、埼玉県や神奈川県の間では凡そ均衡した転出入となっている。

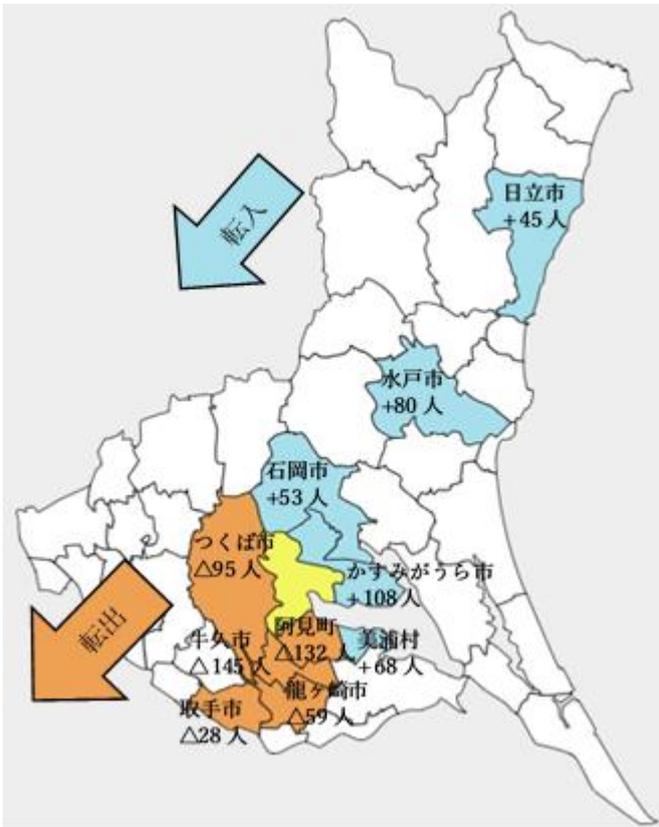


図1-3-1 土浦市と茨城県内各市町村との純移動数（平成25年）

年齢別の社会移動状況を見てみると、男性の15～19歳が20～24歳になる時に一度大きく転出超過となり、さらに25～29歳になるときに大きく転入超過となっている。これは、高校卒業後の就職・大学進学等に伴う転出者が多い一方で、大学卒業後の就職による転入者が多いためであると推測される。また、男女ともに30歳代での転出超過が目立つが、これは結婚や出産・育児、住宅購入などのライフイベントとそれに伴う住居変更の必要性の発生が要因と

して考えられる。

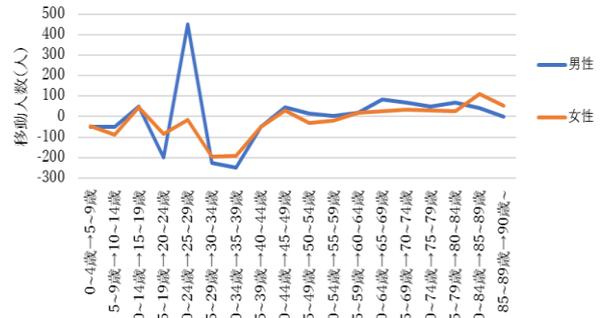


図1-3-2 5歳階級年齢別純移動数の状況（H17→H22）

2章 土浦市の財政

2-1 財政概要

財政収支について、土浦市の財政は慢性的な収支不足状態である。平成29年度から平成39年度の累積収支不足額は、130億円になる見込みである。

この財政収支の赤字分を補填するために利用してきた財政調整基金が枯渇する見込みである。財政調整基金は自治体が財政的に余裕のある年度に積立てておく貯蓄であるが、土浦市によるとこれが平成36年度に枯渇する。財政調整基金が枯渇すると、以降は解消困難な財源不足へと陥るため、財政収支の改善は土浦市の喫緊の課題であると言える。

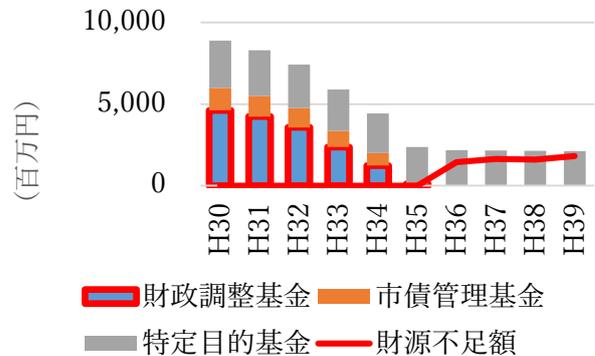


図2-1-1 年度末基金の見通し

2-2 歳入について

平成28年度の歳入の内訳は、市税の割合が最も高く、約4割を占めている。地方交付税(7%)、国庫支出金(14%)、市債(19%)も比較的歳入に占める割合が高い。

市税としては、市民税(個人・法人)や固定資産税などがあげられる。土浦市では、個人市民税税収は緩やかに上昇する見込みとしている。しかし、今後人口減少に伴って納税義務者数も減少する。さらに世帯年収割合を全国と比較

しても、高所得者が特に多いわけでもない。個人市民税の増加は難しいと考えられる。

また、固定資産税税収についても、地価が下落している地区が多く、減少する傾向にある。

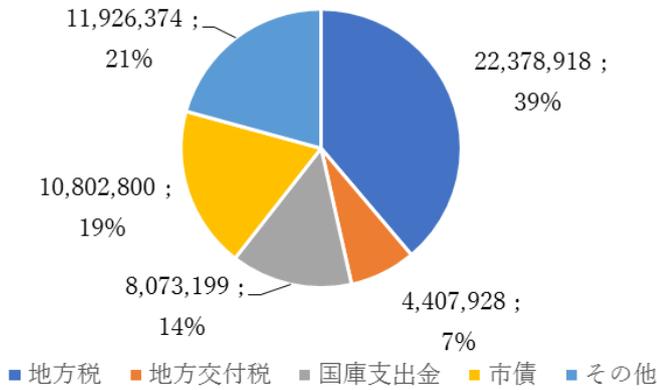


図 2-1-1 土浦市歳入内訳(単位：千円)(平成 28 年度)

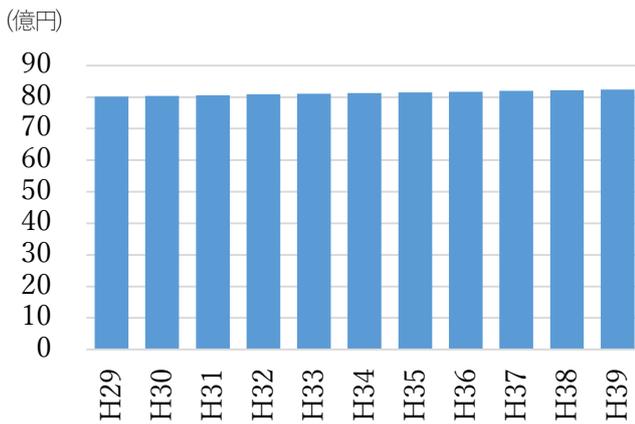


図 2-1-2 土浦市個人市民税の見通し

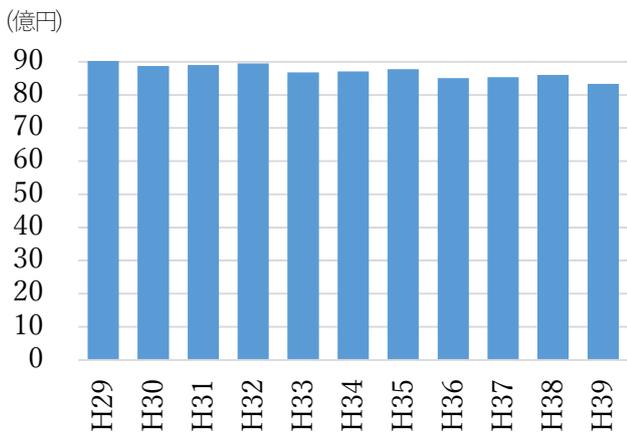


図 2-1-3 土浦市固定資産税の見通し

2-3 歳出について

土浦市の歳出の合計はおよそ総額 560 億円である。このうち人件費、扶助費、公債費を含むものを義務的経費、投資的経費、その他には物件費、維持補修費、補助費をまとめたものを分類した。投資的経費については、行政がプロジェクトによって能動的にアプローチできることから柔軟に設定でき扱いやすい。

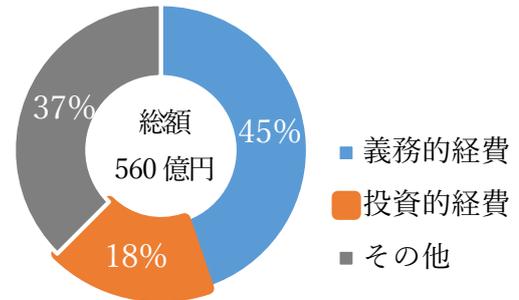


図 2-2-1 H28 年度の土浦市の性質別歳出内訳

H32 年度までに現在の大規模なプロジェクトが完了するほか、投資的経費を抑えることで減少傾向になっている。H33 年以降は年間 35 億円で投資的経費を推移させる予定である。この 35 億円とは、既存の公共施設、交通インフラを維持更新していくために必要な金額であり、新たな投資をしないことで投資的経費を抑え、財政収支の負担を軽減させようとする見通しである。

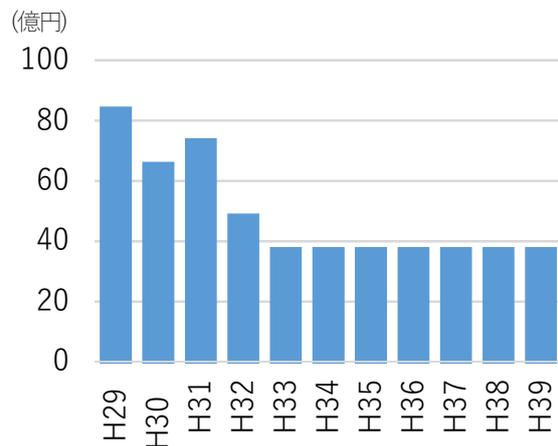


図 2-2-2 今後の投資的経費見通し

3章 土浦市の事業見直し

3-1 土浦市運動公園基本計画の概要

川口運動公園は競技者に特化した施設、新治運動公園は、運動公園の拠点、常名運動公園は、地域密着に特化した施設に整備し、3つの運動施設の連携・補完をねらうものである。

3-2 現状

川口運動公園、新治運動公園はほぼ改修完了している。常名運動公園では、用地買収に応じない地権者がおり、整備が停滞している。



図 3-2 対象運動公園の位置関係

3-3 常名運動公園の課題

- ・ 予定地の管理で年間 2000 万円以上
- ・ H28 年末の見込みでは工期の延長により約 100 億円
- ・ このままの工期が 40、50 年延期されると予算が 200 億円かかる

4章 今後の見通し

土浦市は現在人口減少と少子高齢化という二つの大きな問題を抱えている。これらの問題の主な原因は、人口の自然減の進行、土浦市外への人口流出、高齢化の進行が考えられる。これらの問題は、財政を圧迫している。人口の自然減の進行や人口流出は、地方財政の収入源である個人市民税、固定資産税の減少を引き起こしている。高齢化の進行については、扶助費の義務的経費の負担増大を引き起こしている。これらの対策として土浦市はH32の大規模プロジェクトの完了を機に投資的経費を既存のインフラ施設を最低限維持できる金額に推移させ、財政収支の負担を軽減させる予定である。しかし、土浦市では、現在進行形で停滞しているプロジェクトがあり、このままの工期が進めると40.50年かかると200億円規模のプロジェクトがある。このように土浦市の見通しと現場では乖離がある。

以上の問題を解決するには2つのアプローチが考えられる。

- 1 つは人口を増加させる効果的なプロジェクトを実施し、扶助費の抑制や税収の増加などの効果を狙うことである。
- もう 1 つは、現在進行している将来の見通しが立っていない

いプロジェクトの存続の意思決定し、無駄な経費を削減させることである。以上のアプローチを行うことで、土浦市の人口財政に関する諸問題を解決することができると思われる。

参考文献

- 土浦市公式ホームページより
- ・ 平成 28 年度主要施策の成果説明書
- ・ 平成 27 年度主要施策の成果説明書
- ・ 平成 25 年度主要施策の成果説明書
- ・ 延滞金・還付加算金の割合の変更について
- ・ 「H29 年度長期財政見通しと財政運営の基本的な考え方」
- ・ 住宅改修工事に伴う固定資産税の減額について
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page000618.html>
- ・ 内閣府公表データ
http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/keizai-jinkou_data.html
- ・ 年収ガイド
https://www.nenshuu.net/prefecture/shotoku/s-hotoku_city.php?code=082031
- ・ 不動産実務 TIPS
<https://reatips.info/keinennngenten-hosei/>